

氏名	経過記録
東海林 紀子様	5/30 10時特定相談支援事業所の橋本氏、本人、就労継続支援B型オリオンの高木氏、青明舎岩澤で担当者会議を行う。本人より3日間の体験利用の感想を聞くと、暑い日・雨の日を体験し大変だった。仕事の内容的に力仕事も多く大変だが、やりがいを感じたとの事。仕事の内容は薪を結束バンドで束ねる作業と、ブラシで薪を払う作業。就労継続支援B型オリオンの高木氏からは、他のスタッフから作業の様子を聞いているが、本人にとって向いていると思うという事だった。体験利用は色々な天気の日をたまたま体験できたと思うが、天気によって左右される職場である説明があり、雨風ひどすぎる時には事業所が休みになる事もある事や、夏は気温が32℃をこえてくると休みになったりする事を説明受けている。そして、利用者みんなに普段からお願いしている事は、何でも自分から発信する事。体調が悪い時には相談してほしいとの事。今後は草取りや公園の草集めなど別の作業も入ってくる。しかもそちらの方が工賃が500円と高い為、人気がある。決まった日数出勤できている方から声掛けし、そちらの作業をお願いするという事だった。本人の利用は、月・水・金曜日の午前中のみ。週3回の利用。6/5(月)から利用開始予定。送迎を利用して出勤し、帰宅時はバスを利用。当日のお休みは8時まで連絡して欲しいとの事。具合が悪くなった時には、すぐに自宅に送ることが出来ない事、時間まではその場で休んでもらう事、作業していない時間は時給換算されない事等が説明される。その他、作業内容で、お彼岸やお盆前は墓掃除にも入る事、冬には雪かきもある事等説明を受ける。今後準備する物は安全靴と長靴、夏場は着替えを持参しても良いことを説明を受け、担当者会議を終える。帰宅時、本人より、長靴やカッパは何处で購入したら良いか？どんなものを購入したら良いか？との質問あり。本人よりサンデーに買い物に行かなければならないと言うので、ついでに見てくるよう伝えている。 6/2 特定相談橋本氏より情報提供あり。 今朝から腹痛・吐き気あり病院に行ってきたと連絡あり。整腸剤と腹痛時の頓服を貰ってきたとのことで、吐き気は落ち着いたが腹痛が良くならないとの事。先生に慢性的な下痢だと伝え、水分も結構取ると伝えたら控えるように言われたが、精神薬の副作用で喉が渇くので結構飲んでしまうとの事。一日2ℓは飲んでしまうというので、量を少し控えたり炭酸水などの刺激が強いものではなく水やお茶などのなるべく刺激が少ないものを飲むようにしたらどうかと助言している。仕事でも暑い中での仕事なので結構水分をとってしまうことを気にしている。職場にも炭酸水を持って行こうとしていたので、せめて職場には水やお茶とかスポーツドリンクなどにするよう伝えている。自宅ではお酒も飲むと言うので、仕事の前の日は控えたりして飲む日や飲む量を考えていかないと仕事に影響ができることを伝え、本人の意識次第な所もあるので頑張ってみよう伝えている。
三浦 なつみ様	5/31 10時5分来所。体温は35.4℃。体調は変わりないとの事。スタッフとお話しながら新聞折をしている。その後エクササイズに参加。「きついですね。」と言う場面もあったが、最後まで休むことなく行うことが出来ていた。帰り際、付けていたカチューシャを見せてくれ、100円均一で購入した物に自分でリボンを作って付けたと教えてくれている。年齢を重ね、母親に髪が薄くなっていると指摘された為と話していた。スタッフからも髪の悩みを聞いて、対策などいろいろな情報交換もしたいと話していた。
東海林 康之様	6/1 特定相談橋本氏より情報提供あり。 カシオペアでサービス担当者会議をおこなっている。 利用頻度は月～土。時間は以前9時～14時だったが、本人的には10時～14時が良いとの事で、当面はその時間でやっていくことにした。作業は銅線やにんにく等の施設内作業をメインにやっていく。バス停清掃は体に負担をかけないようにしたいとのことで今はやらないことにした。今後、カシオペアで本人の状態を見てバス停清掃が出来そうだと思った時は本人の意向を確認し、特定に連絡をして貰ってするかどうかを決めていく。

北村 奈美様	6/1 特定相談森氏より情報提供あり。 本人より電話あり。6月になったらヘルパー利用しようと思っているけれど、幻聴さんが強くて、母も『まだ(利用しない)のほうがいいんじゃない?』と言っているし、自分もそう思うから…とのこと。不調の時こそ利用するサービスであるが、利用開始のタイミングは本人に任せると伝える。本人は「半年後かな」と言うので、半年後だと12月になって「雪が降って凍るから利用しない」となるのではないかと声掛ける。 また、母が「青明舎の人に聞いてみて欲しい」と言った文章があるそうで、『私は73歳です。弁当が来ない日は食事の準備をしている。後片付けもしている。娘を病院に送迎して、通院できない時は代わりに病院に行き薬を貰ってくる。臭いの対応もしている。1日25回くらい娘に呼ばれる。寝るのは24時30分か1時過ぎで、もう無理ぽっくなってきた』と読み上げている。本人は「自分は目が悪いから」と言い訳をして、自分の母親が世間の同年代の人と比べて元気なのかそうじゃないのか、一般的に70代はどうか分からないと言うので、個人的な意見になるかもしれないが、子供が70代の親を通院に連れて行ったり代わりに薬を貰いに行ったりする年台だと思うこと、貴方の場合は、不調だと言うことがあるので一概に何とも言えないが、40代の娘が母親に入浴介助をお願いしたり買い物をお願いしたり、代わりに通院して貰ったり、それだと母親も大変だと思うし倒れてしまう、もし母が倒れたらどうするのか聞くと「弟が秋田に居るから、2人とも秋田で施設に入るのかも」と他人事のように話している。「足首の調子が良ければ出来る家事はやれる」と言うので、そもそも家事が出来るのか聞くと「出来ない」とのこと。家族の分もやって欲しいと言っている訳ではなく、最低限通院や買い物等自分自身のことをやって欲しいと言っているのではないかと伝える。本人は「お母さんもそんなことを言っていた」との事。
田端 香織様	6/2 南部町地域包括支援センター木村氏より、妹様について情報提供あり、青明舎から状況について説明している。 昨日妹が南部町の社会福祉法人が経営するカフェに来店した際、居合わせたケアマネに香織様のことや家族等の相談をして、ケアマネから包括に相談があったとのこと。今日夕方再度妹が来町して話を聞くことになっているが、その前に支援している青明舎に詳細を確認したいと話あり。妹は、 ①香織が6月15日で退院する予定でその後の支援に不安 ②母についての不安 ③家族関係について ④香織に対する母の虐待(罰として食事や薬を与えない等)について 等を相談したと聞く。 香織について、支援者はサービス利用させたいと思っているが、病状が不安定で落ち着かない現状ではサービスに繋げる事より医療が優先すると思っていることを説明。また母・本人が供依存的な関係にあるとみているため、お互いに離れられないでいる事、母が訪問系サービスや医療を拒否していることを話して理解を得る。木村氏から、香織の安否確認が定期的に出来る環境があるか、痩せていたり服薬できていないような所見があるか質問あり、虐待に関しては妹から話を聞いており、その様なこともあるかもしれないが、反面親子で食事に行ったりしているし、香織が入浴しているのか、入浴しても各所洗うことが出来ているのかは疑問な時があるが、それが虐待か精神症状の悪化の為かが分からないことを説明する。木村氏は、これまで青明舎や八戸市障がい福祉課が関わっている中で、見当違いがあっては混乱させてしまい、香織や妹が町外の方であることから、話を聞くことしかできないと話しており、話を聞く際に、青明舎も一緒に入れて貰って構わないし、相談事は青明舎にして欲しいと促しても構わないことをお願いする。 6/5 南部町地域包括支援センター木村氏より特定相談森氏宛に電話あり、伝言残している。 「加藤聡美様が金曜日の夕方来所し話を聞きました。現在困っている事を聞いても以前の話をしはじめ話が逸れ、話を戻してもまた逸れると言う感じで話がループする状態でした。話を聞く事しか出来ないと伝え傾聴のみの対応しています。もしまた何かあったら情報提供します」との事。

田中 一 様	浅眠傾向が続いていたり、明け方4:00から世話人が訪問に来る8:00頃までの睡眠になっている。また、休日は昼寝もしているとの事で中逆転傾向も懸念される。
豊川 明男 様	5/30 「胸やけ」と「少し吐き気」があるとの事。朝食はなかなか喉を通らなかったが無理やりだが食べたとの事。睡眠は寝つきが良かったが5:30起きてしまい胸やけのような感覚に襲われたと話す。就労には行こうと思っていると話す為、就労先のスタッフに体調の事を伝えるよう助言し、手のしびれなどが出たら熱中症の恐れもあるので世話人へ連絡をするよう助言している。就労には行かれている。 6/2 本人、特定相談橋本氏、サンライフ大西氏、滝本氏、世話人村井で保証人について話し合いを行なっている。前回の見積もりが312,076円となっており、本人からは月々の支払いを20,000円でお願いしたいと要望が聞かれている。減免措置もあるとの事で、見積もりを再度出し検討する事としている。本人から、保証人を立てるのにこれしかないのであればと諦めのような発言を聞き取っている。もし先ほどの料金になり月々20,000円支払うとなるとどれくらい掛かるのかと相談があり、16ヶ月支払うことになると伝えている。
関 秀治 様	5/30 金銭管理実施。5/23～5/26で3,804円、乳液や洗顔料など普段購入が見られないものがある。手持ちは1,000円で通帳残高は41,297円となっている。水光熱費等はすでに引いた残高との事。6/10に家賃が引かれ年金が支給されるまで14,297円。現在1週間の生活費で4,000円前後使われている為、通帳残高が2,000円程になると考えられる。 6/4 最近イライラ感はどうか聞くと、注射をしてからはあまりなく明るくなったと話す。食事について困っていないか聞くと、節約はしているが鯖缶を買ったりしているとのこと。 6/8 就労継続支援B型事業所チョコ・クッキーを見学予定としている。
番沢 政勝 様	先日定期外来で、主治医に日中の眠気のことを伝えたと、服薬調整しようと言われたが、今のままで良いと伝えてきたとのこと。
大下 伸治 様	5/30 荻生内科受診同行。先生から採血結果を聞いている。空腹時血糖210、ヘモグロビンA1c7.2。本人は調子が悪いとか、水分を摂りたくなると話しているが、糖尿の悪化では無く問題無いとの事。引き続き青南病院で診てもらよう指示ある。血圧について聞くと、測定し140/84。昨日は160/110だったため、今日の血圧はそんなに問題無いと思うとの事。気になるようであれば、青南病院に相談するようにと指示ある。本人へ次回受診日確認し、6/7との事。世話人から情報提供しておく伝えて。糖尿病手帳確認し、R4年10/21の体重が68.3kg、昨日の体重が66.9kgとなっている。 6/1 本人から胃薬の購入代行希望あり。1000円預かっている。時々胃薬を服用していると話す。処方で胃薬が出るはずだが、「胃薬調整頼もうかな。粉のが良いんだよ。」と話している。受診時に話すよう促している。同日、認定調査立ち合っている。障害福祉課林様の調査を受ける。平成28年頃の入院中に調査を受けた事があり、その時の様子との様子を確かめられている。 6/4～6/6の期間で自宅外泊としている。理由は兄の一周忌とリフレッシュの為。
田名部 浩平 様	5月から間食のカロリーが増えており、1000kcal前後を週5回程見られている。 6/4 選挙の投票後に自宅外出している。
澤代 文男 様	ワーク柿の木苑より結核の検査結果が届き再検査するよう通達を受ける。青南病院医事へ電話し、結核精検査について問い合わせしている。医事へ精検査票コピーを持参し、外来看護師と検査佐藤氏に確認していただく。X線とCTであれば検査可能とのこと。主治医菅野Dr.が不在の為、検査内容についての許可は出なかったが、次回受診前に再度検査希望の連絡をし、当日に原本を持参することとしている。 眼科受診して来たとの事で、検査結果は良かったとの事。杉本氏の物音が大きい、わざと下の人に響くように音を立てている様に感じると話しているため傾聴対応している。
角濱 義弘 様	5/29 朝方不安感が強くなり頓服を7:30に服用したとの事。昨日は17:00頃中心街に行き気分転換しようと思ってバスを利用したとの事。本屋やコンビニに行ってきたと話す。世話人へ伝え忘れていた事があるのでは質問すると、帰ってきた時の電話を忘れていたと話している。急に出掛けの際はきちんと報告をするよう助言している。 三戸地域県民局へ入電。本人の生保申請について問い合わせしている。世話人同行で本人に合同庁舎へ来てほしいとのこと。その際は、障害福祉手帳、年金の通帳、家賃額や生活費の分かるものを持参するようにとのこと。訪問の日程については、担当者不在の為折り返しかけ直すとのこと。三戸地方福祉事務所のオオタ氏より連絡あり。本人と面談する日程を6/5(月)9:30青明舎相談室で調整している。本人には、通帳、障害者福祉手帳、年金振込通知書、年金証書、自立支援受給者証。世話人で用意するものとして、年金額証明書、領収書(3月～5月分)、サービス受給者証、生活費内訳のわかるものとなっている。
村山 吾郎 様	5/31 保佐人の兄英治氏来訪。集金額の他、小遣いとして20,000円を世話人に渡している。貴重品は自己管理の為、本人の所持金が40,000円越えることになること伝えている。英治氏としては、頻繁に来訪できない為、先に渡しておきたいと話す。用途は、衣類、欲しいゲーム(PS5等)、ゲームソフト、タクシー移動に当ててほしいとのこと。本人の所持金が50,000円を超えるか、20,000円を切ったら教えてほしいとのこと。本人の所持金はデイケア弁当代として所持金11,000円、小遣いは所持金37,000円となっている。

